

厚生労働科学研究費補助金

腎疾患政策研究事業

ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

令和5年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 中川 直樹

令和6（2024）年 5月

目 次

I. 総括研究報告		
ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究	-----	1
中川直樹		
II. 分担研究報告		
1. 勤労世代の生活・就労等の実態調査研究	-----	4
祖父江理、酒井謙		
2. 企業・医療機関向けのCKD患者の治療と仕事の両立支援手法の開発	-----	5
中川直樹、猪阪善隆、柏原直樹、酒井謙、須賀万智、内田明子、石川祐一、高井奈美、水野智博		
3. CKD患者・家族向けの治療と仕事の両立支援ツールに関する研究	-----	7
中川直樹、福井亮、岡田浩一、要伸也、須賀万智、祖父江理、内田明子、石川祐一、高井奈美、水野智博		
4. 職場における慢性腎臓病への対応に関するアンケート調査	-----	8
須賀万智、山内貴史		
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	11

厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）
令和 5 年度 総括研究報告書
ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

研究代表者：中川 直樹 国立大学法人旭川医科大学・医学部・准教授

研究要旨

1 勤労世代の生活・就労等の実態調査研究

CKD 患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の疾患やその治療が就労におよぼす影響の現状、通院状況、治療内容などをアンケート調査した。過去の就労に関する実態調査を検索し、課題を抽出した。これらの情報を活用し、マニュアル作成や療養指導の改善に役立てる検討に着手した。

2 企業・医療機関向けの CKD 患者の治療と仕事の両立支援手法の開発

慢性腎臓病（CKD）患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の特性、治療と就労の両立支援に当たっての留意事項を明示し、CKD 患者の両立支援手法の確立により、企業や医療機関が「主治医と産業医の連携」を含めた取り組みを具体的に例示することで、CKD 患者の就労支援に繋がる企業・医療機関との連携を促進し、CKD 重症化予防にも貢献することを目指した。

3 CKD 患者・家族向けの治療と仕事の両立支援ツールに関する研究

「治療と仕事の両立お役立ちノート」を作成し、研究班や関連学会のホームページ等において、患者及び国民に広く普及する検討に着手した。

4 職場における慢性腎臓病への対応に関するアンケート調査

職場における CKD への対応について実態を把握するため、特に 1) CKD 患者の治療と仕事の両立と 2) 健診有所見者の事後措置に注目して、産業医を対象にアンケート調査を実施した。1) CKD 患者の治療と仕事の両立について、仕事との両立が困難であると答えた者の割合は、多い順に、血液透析 60%、腹膜透析 58%、腎移植 31%、保存期 CKD 30%であった。2) 健診有所見者の事後措置について、尿蛋白 1+のみでは経過観察が最も多く（57%）、これに尿潜血 1+が加わるとかかりつけ医を受診が増え、尿蛋白 2+になるとかかりつけ医を受診と腎臓専門医を受診が半々になった。CKD 患者の治療と仕事の両立を進めるには、事例に基づく両立支援の情報提供を行うこと、産業医への啓発活動を行うことの有用性が示唆された。

研究分担者

柏原 直樹 川崎医科大学・学長付特任教授
岡田 浩一 埼玉医科大学・教授
要 伸也 杏林大学・教授
酒井 謙 東邦大学・教授
猪阪 善隆 国立大学法人大阪大学・教授
須賀 万智 東京慈恵会医科大学・教授
福井 亮 東京慈恵会医科大学・講師
祖父江 理 香川大学・講師
内田 明子 聖隷佐倉市民病院・総看護部長
石川 祐一 茨城医科大学・教授
高井 奈美 名古屋大学医学部附属病院・看護師
水野 智博 藤田医科大学・准教授

A. 研究目的

「慢性腎臓病（CKD）における治療と仕事の両立に関する手引き」を作成するため、CKD 患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の疾患やその治療が就労におよぼす影響の現状、通院状況、治療内容などをアンケート調査した。手引きとお役立ちノ

ートの作成により、CKD 患者の適切な管理により CKD ステージの進行を遅らせ、なるべく長い間、社会参加が可能な状態を維持し、透析患者・腎移植患者の社会参加を可能にするツールとして活用され、CKD 患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の就労者数増加や復職率向上に寄与することを目指す。

B. 研究方法

- ・就労に関するアンケートの内容を討議して決定し、CKD 患者に対しアンケート調査を行う。
- ・就労に関する文献調査を行い、課題を抽出する。
- ・CKD 患者の両立支援に有益な情報を収集し、課題を抽出する。
- ・企業・医療機関に提示する、CKD に関する基礎知識、両立支援に当たっての留意事項の取りまとめを行い、「主治医と産業医の連携」を含めた取り組みが出来るように具体的に例示する。
- ・復職・新規就労に有用な機関・制度、有用な社会制度についての取りまとめを行う。

・日本医師会認定産業医研修会に参加した医師を対象に、1) CKD 患者の治療と仕事の両立と 2) 健診有所見者の事後措置に注目してアンケート調査を実施する。

C. 研究結果

< 勤労世代の生活・就労等の実態調査 >

1) 血液透析患者における生活・就労等に関する実態調査に関しては、公益社団法人日本透析医会により実施された血液透析患者実態調査 2021(n=7969, 平均年齢 69 歳, 男性 66%)を用いることとし、同事務局と協議のうえ、承諾を得た。『仕事をしていない学生』は 65 歳未満の生産年齢人口において 37.5%、全体では 66.1%であった。

2) 腎移植後レシピエントにおける生活・就労等に関する実態調査を実施した。アンケートは『全国腎移植者(待機者)の医療・福祉ニーズに関する調査』として NPO 法人日本腎移植者協議会を調査実施団体として実施した。146 名の回答(60-70 歳代が 69%、男性 52%)を得た。就労していない方は 59%であった。一人で通院が 78.7%、ACP に関して家族と話したことがあるのは 27.4%であった。

< 企業・医療機関向けの CKD 患者の治療と仕事の両立支援手法の開発 >

以下に治療と仕事の両立支援マニュアル作成の方向性を示す。

1) 基礎編では、CKD の基礎知識や原因、患者数、経過、治療方法などを解説し、さまざまな疾患や病態が CKD を引き起こすことを明記する。CKD の進行は初期には自覚症状がなく、早期発見・治療が重要であることを強調する。

2) 両立支援に当たる際の留意事項では、CKD の特徴を踏まえた対応や周囲の対応の工夫、不正確な理解や知識による問題への対応、障害特性に応じた配慮などを示す。さらに、復職後の職場適応やメンタルヘルスについても注意を促す。

3) 事例編では、保存期 CKD や血液透析、腹膜透析、腎移植に関する具体的な事例を提示し、それぞれの治療法における労働者の状況や配慮すべきポイントを紹介する。

< CKD 患者・家族向けの治療と仕事の両立支援ツール >

1) CKD 患者を対象とした既存の就労支援関連資料においては、維持透析患者や腎移植後患者への医療上の注意点や障害認定情報等が主であり、保存期 CKD 患者向けの就労上の注意点や医療費に関する情報は不足していた。

2) CKD の原疾患として高頻度なもののうち、糖尿病と難病については、既に患者向けの両立支援資料が作成されているが、高齢化などにより近年

増加傾向である高血圧を背景とした CKD に関する情報は不足していた。

< 職場における慢性腎臓病への対応に関するアンケート調査 >

アンケート調査は日本医師会認定産業医研修会に参加した医師を対象に計 3 ヶ所で実施した。2023 年 11 月 12 日に仙台で 170 名(回答 88 名)、2024 年 1 月 21 日に大阪で 205 名(回答 89 名)、2024 年 1 月 28 日に東京で 120 名(回答 55 名)に調査票を配付し、合わせて 232 枚を回収した。このうち産業医活動を行っていない者を除外し、200 名の回答を分析した。

表 1 に回答者の背景を示した。専門分野は CKD に関連する腎・泌尿器、内分泌代謝・糖尿病、循環器でない者が 7 割を占め、従業員数は中小企業から大企業まで幅ひろく網羅された。

表 1 回答者の背景
専門領域

	N	
腎・泌尿器	15	8%
内分泌代謝・糖尿病	15	8%
循環器	29	15%
その他	141	71%

従業員数

	N	
49人以下	23	12%
50-299	98	49%
300-599	33	17%
600-999	12	6%
1000人以上	29	15%
無記載	5	3%

表 2 に治療中の従業員の状況を示した。治療中の従業員の有無がわからない者が 16% (インスリン治療) ~34% (腹膜透析) みられた。

表 2 治療中の従業員の状況

		N	両立困難		p
抗がん剤	いる	93	45	48%	0.626
	いない	43	24	56%	
	わからない	34	20%	19	
インスリン治療	いる	124	11	9%	0.001
	いない	27	6	22%	
	わからない	29	16%	10	
保存期CKD	いる	72	15	21%	0.031
	いない	54	23	43%	
	わからない	40	24%	12	
血液透析	いる	44	15	34%	<0.001
	いない	74	54	73%	
	わからない	39	25%	25	
腹膜透析	いる	8	3	38%	0.438
	いない	79	48	61%	
	わからない	44	34%	25	
腎移植	いる	23	2	9%	0.024
	いない	66	26	39%	
	わからない	39	30%	12	

仕事との両立が困難であると答えた者の割合は、CKD 関連に注目すると、多い順に、血液透析 60%、腹膜透析 58%、腎移植 31%、保存期 CKD 30%であった。疾患の種類に関わらず、治療中の従業員がいると答えた者の方がいないと答えた者に比べ低い傾向にあった。

表 3 に健診有所見者の事後措置を示した。全体で見ると、尿蛋白 1+のみでは経過観察が最も多く (57%)、これに尿潜血 1+が加わるとかかりつけ医を受診が増え、尿蛋白 2+になると経過観察がほぼゼロで、かかりつけ医を受診と腎臓専門医を受診が半々になった。一方、eGFR 60ml/分/1.73m²未満のみではかかりつけ医を受診が最も多く (57%)、これに尿蛋白 1+が加わると腎臓専門医を受診が増え、eGFR 45ml/分/1.73m²未満になると経過観察がゼロで、腎臓専門医を受診が 7 割を越えた。専門分野別にみると、腎・泌尿器を専門にする者の方がそうでない者に比べ、腎臓専門医を受診とする割合が高い傾向にあった。

表 3 健診有所見者の事後措置

	専門領域	経過観察	かかりつけ医	腎臓専門医	p			
A) 尿蛋白(定性)1+	全体	105	55%	78	41%	8	4%	0.002
	腎・泌尿器	3	20%	10	67%	2	13%	
	内分泌代謝・糖尿病	3	21%	11	79%	0	0%	
	循環器	15	52%	12	41%	2	7%	
	その他	84	63%	45	34%	4	3%	
B) 尿蛋白(定性)1+、尿潜血(定性)1+	全体	31	16%	112	57%	52	27%	0.032
	腎・泌尿器	1	7%	5	33%	9	60%	
	内分泌代謝・糖尿病	0	0%	9	60%	6	40%	
	循環器	5	17%	17	59%	7	24%	
	その他	25	18%	81	60%	30	22%	
C) 尿蛋白(定性)2+	全体	1	1%	98	50%	97	49%	0.065
	腎・泌尿器	0	0%	2	13%	13	87%	
	内分泌代謝・糖尿病	0	0%	7	47%	8	53%	
	循環器	0	0%	12	41%	17	59%	
	その他	1	1%	77	56%	59	43%	
D) eGFR 60ml/分/1.73m ² 未満	全体	73	38%	110	57%	9	5%	0.089
	腎・泌尿器	2	13%	11	73%	2	13%	
	内分泌代謝・糖尿病	4	27%	11	73%	0	0%	
	循環器	16	55%	12	41%	1	3%	
	その他	51	38%	76	57%	6	5%	
E) eGFR 60ml/分/1.73m ² 未満、尿蛋白(定性)1+	全体	9	5%	113	58%	72	37%	<0.001
	腎・泌尿器	0	0%	1	7%	14	93%	
	内分泌代謝・糖尿病	1	7%	7	47%	7	47%	
	循環器	2	7%	21	72%	6	21%	
	その他	6	4%	84	62%	45	33%	
F) eGFR 45ml/分/1.73m ² 未満	全体	0	0%	46	24%	148	76%	0.323
	腎・泌尿器	0	0%	1	7%	14	93%	
	内分泌代謝・糖尿病	0	0%	5	33%	10	67%	
	循環器	0	0%	6	21%	23	79%	
	その他	0	0%	34	25%	101	75%	

D. 考察

<勤労世代の生活・就労等の実態調査>

血液透析患者、腎移植後レシピエントにおける高齢化もあり、血液透析患者、腎移植後レシピエントに対する両立支援は必要である。今後、保存期 CKD 患者における実態調査を進めるとともに、療養指導マニュアル・両立支援ノートの作成が必要であると考えられた。

<企業・医療機関向けの CKD 患者の治療と仕事の両立支援手法の開発>

CKD は原疾患や臨床経過が様々であることにより、就労支援においては個別性が高く、情報を一元化して両立支援のスクリーニングが実施できるシステム構築が必要である。また、CKD においては、

院内に留まらず院外を含めた連携やサポートが必要であり、そのためにも院外の医療機関や関係施設との連携が不可欠である。

この手引きを作成することにより、CKD 患者が仕事と治療を両立させるための基礎知識や具体的な対策を提供し、企業や医療機関が適切な支援を行う際の参考になることが期待される。

<CKD 患者・家族向けの治療と仕事の両立支援ツール>

CKD は原疾患や臨床経過が様々であることにより、利用可能な制度等も様々である。患者・家族向けには特に、維持透析患者や腎移植後患者に対する障害認定の情報、保存期 CKD 患者に対する指定難病や高額療養費制度に関する情報等が必要と考えられる。患者会等の意見を参考にしながら、必要な情報がワンストップで得られる資料を作成することが有用と考えられた。

E. 結論

勤労世代の生活・治療・就労等のライフスタイルに沿った有効な CKD 対策についてまとめ、企業・医療機関および患者・家族に CKD 患者の治療と就労の両立支援を促進することで、CKD 患者の QOL 向上および社会経済的損失の減少、さらには CKD 重症化予防にも貢献し、透析導入減少に繋がることが期待される。手引きおよびお役立ちノートは CKD 患者が社会参加継続および復帰を可能にするツールとして活用され、CKD 患者が自らの状態を理解し、主体的に治療と就労に取り組むことに繋がり、CKD 患者の就労者数増加や復職率向上に寄与することが期待される。また、CKD 患者の適切な治療により CKD 重症化予防にも貢献し、透析導入減少にも資することが期待される。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）
ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究
令和5年度 分担研究報告書

勤労世代の生活・就労等の実態調査研究

研究分担者：祖父江 理 香川大学・医学部循環器・腎臓・脳卒中内科・講師
研究分担者：酒井 謙 東邦大学・医学部・教授

研究要旨

CKD 患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の疾患やその治療が就労におよぼす影響の現状、通院状況、治療内容などをアンケート調査する。アンケートの内容は、班会議において分担者で討議して決定する。過去の就労に関する実態調査を検索し、課題を抽出する。これらの情報を活用し、マニュアル作成や療養指導の改善に役立てる。

A. 研究目的

CKD 患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の疾患やその治療が就労におよぼす影響の現状、通院状況、治療内容などをアンケート調査する。アンケートの内容は、班会議において分担者で討議して決定する。過去の就労に関する実態調査を検索し、課題を抽出する。これらの情報を活用し、マニュアル作成や療養指導の改善に役立てる。

B. 研究方法

- ・就労に関するアンケートの内容を討議して決定し、CKD 患者に対しアンケート調査を行う。
- ・就労に関する文献調査を行い、課題を抽出する。

C. 研究結果

1) 血液透析患者における生活・就労等に関する実態調査に関しては、公益社団法人日本透析医会により実施された血液透析患者実態調査2021(n=7969, 平均年齢 69 歳, 男性 66%)を用いることとし、同事務局と協議のうえ、承諾を得た。『仕事をしていない/学生』は 65 歳未満の生産年齢人口において 37.5%、全体では 66.1%であった。

2) 腎移植後レシピエントにおける生活・就労等に関する実態調査を実施した。アンケートは『全国腎移植者（待機者）の医療・福祉ニーズに関する調査』として NPO 法人日本腎移植者協議会を調査実施団体として実施した。146 名の回答（60-70 歳代が 69%、男性 52%）を得た。就労していない方は 59%であった。一人で通院が 78.7%、ACP に

関して家族と話したことがあるのは 27.4%であった。

D. 考察

血液透析患者、腎移植後レシピエントにおける高齢化もあり、血液透析患者、腎移植後レシピエントに対する両立支援は必要である。今後、保存期 CKD 患者における実態調査を進めるとともに、療養指導マニュアル・両立支援ノートの作成が必要であると考えられる。

E. 結論

勤労世代の生活・治療・就労等のライフスタイルに沿った有効な CKD 対策についてまとめ、CKD 患者の治療と就労の両立支援を促進することで、CKD 患者の QOL 向上および社会経済的損失の減少、さらには CKD 重症化予防にも貢献し、透析導入減少に繋がることが期待される。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし
3. その他：なし

厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）
 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究
 令和5年度 分担研究報告書

企業・医療機関向けのCKD患者の治療と仕事の両立支援手法の開発

研究代表者：中川 直樹	国立大学法人旭川医科大学・医学部・准教授
研究分担者：猪阪 善隆	国立大学法人大阪大学・大学院医学系研究科・教授
研究分担者：柏原 直樹	川崎医科大学・医学部・学長付特任教授
研究分担者：酒井 謙	東邦大学・医学部・教授
研究分担者：須賀 万智	東京慈恵会医科大学・環境保健医学講座・教授
研究分担者：内田 明子	聖隷佐倉市民病院・看護部・総看護部長
研究分担者：石川 祐一	茨城リハビリテーション大学・生活科学部食物健康科学科・教授
研究分担者：高井 奈美	名古屋大学医学部附属病院・看護部・看護師
研究分担者：水野 智博	藤田医科大学・医学部薬物治療情報学・准教授

研究要旨

慢性腎臓病（CKD）患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の特性、治療と就労の両立支援に当たっての留意事項を明示し、CKD患者の両立支援手法の確立により、企業や医療機関が「主治医と産業医の連携」を含めた取り組みを具体的に例示することで、CKD患者の就労支援に繋がる企業・医療機関との連携を促進し、CKD重症化予防にも貢献することを目指す。

A. 研究目的

「慢性腎臓病（CKD）における治療と仕事の両立に関する手引き」を作成し、CKD患者の適切な管理によりCKDステージの進行を遅らせ、なるべく長い間、社会参加が可能な状態を維持し、透析患者・腎移植患者の社会参加を可能にするツールとして活用され、CKD患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の就労者数増加や復職率向上に寄与することを目指す。

B. 研究方法

- ・CKD患者の両立支援に有益な情報を収集し、課題を抽出する。
- ・企業・医療機関に提示する、CKDに関する基礎知識、両立支援に当たっての留意事項の取りまとめを行い、「主治医と産業医の連携」を含めた取り組みが出来るように具体的に例示する。

C. 研究結果

以下にマニュアル作成の方向性を示す。

- 1) 基礎編では、CKDの基礎知識や原因、患者数、経過、治療方法などを解説し、さまざまな疾患や病態がCKDを引き起こすことを明記する。CKDの進行は初期には自覚症状がなく、早期発見・治療が重要であることを強調する。
- 2) 両立支援に当たる際の留意事項では、CKDの特徴を踏まえた対応や周囲の対応の工夫、不正確な理解や知識による問題への対応、障害特性に応じた配慮などを示す。さらに、復職後の職場適応やメンタルヘルスについても注意を促す。

3) 事例編では、保存期CKDや血液透析、腹膜透析、腎移植に関する具体的な事例を提示し、それぞれの治療法における労働者の状況や配慮すべきポイントを紹介する。

D. 考察

CKDは原疾患や臨床経過が様々であることにより、就労支援においては個別性が高く、情報を一元化して両立支援のスクリーニングが実施できるシステム構築が必要である。また、CKDにおいては、院内に留まらず院外を含めた連携やサポートが必要であり、そのためにも院外の医療機関や関係施設との連携が不可欠である。

この手引きを作成することにより、CKD患者が仕事と治療を両立させるための基礎知識や具体的な対策を提供し、企業や医療機関が適切な支援を行う際の参考になる。

E. 結論

企業・医療機関にCKD患者の治療と仕事の両立に必要な情報を提供することで、CKD患者が社会参加継続および復帰を可能にするツールとして活用され、CKD患者が自らの状態を理解し、主体的に治療と就労に取り組むことに繋がり、CKD患者の就労者数増加や復職率向上に寄与することが期待される。また、CKD患者の適切な治療によりCKD重症化予防にも貢献し、透析導入減少にも資することが期待される。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3.その他

なし

厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）
ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究
令和5年度 分担研究報告書

CKD 患者・家族向けの治療と仕事の両立支援ツールに関する研究

研究代表者：中川 直樹	国立大学法人旭川医科大学・医学部・准教授
研究分担者：福井 亮	東京慈恵会医科大学・腎臓・高血圧内科・講師
研究分担者：岡田 浩一	埼玉医科大学・医学部・教授
研究分担者：要 伸也	杏林大学・医学部・腎臓・リウマチ膠原病内科・教授
研究分担者：須賀 万智	東京慈恵会医科大学・環境保健医学講座・教授
研究分担者：祖父江 理	香川大学・医学部循環器・腎臓・脳卒中内科・講師
研究分担者：内田 明子	聖隷佐倉市民病院・看護部・総看護部長
研究分担者：石川 祐一	茨城リサ教大学・生活科学部食物健康科学科・教授
研究分担者：高井 奈美	名古屋大学医学部附属病院・看護部・看護師
研究分担者：水野 智博	藤田医科大学・医学部薬物治療情報学・准教授

研究要旨

「治療と仕事の両立お役立ちノート」を作成し、研究班のホームページや関連学会のホームページ等において、患者及び国民に広く普及する。さらに、普及・啓発活動、療養指導等に活用する。

A. 研究目的

「治療と仕事の両立お役立ちノート」を作成し、CKD 患者の適切な管理により CKD ステージの進行を遅らせ、なるべく長い間、社会参加が可能な状態を維持し、透析患者・腎移植患者の社会参加を可能にするツールとして活用され、CKD 患者（透析患者及び腎移植患者を含む）の就労者数増加や復職率向上に寄与することを目指す。

B. 研究方法

- ・CKD 患者の両立支援に有益な情報を収集し、課題を抽出する。
- ・復職・新規就労に有用な機関・制度、有用な社会制度についての取りまとめを行う。

C. 研究結果

1) CKD 患者を対象とした既存の就労支援関連資料においては、維持透析患者や腎移植後患者への医療上の注意点や障害認定情報等が主であり、保存期 CKD 患者向けの就労上の注意点や医療費に関する情報は不足していた。

2) CKD の原疾患として高頻度なもののうち、糖尿病と難病については、既に患者向けの両立支援資料が作成されているが、高齢化などにより近年増加傾向である高血圧を背景とした CKD に関する情報は不足していた。

D. 考察

CKD は原疾患や臨床経過が様々であることにより、利用可能な制度等も様々である。患者・家族

向けには特に、維持透析患者や腎移植後患者に対する障害認定の情報、保存期 CKD 患者に対する指定難病や高額療養費制度に関する情報等が必要と考えられる。患者会等の意見を参考にしながら、必要な情報がワンストップで得られる資料を作成することが有用と考えられた。

E. 結論

社会参加継続および復帰を可能にするツールとして活用され、CKD 患者が自らの状態を理解し、主体的に治療と就労に取り組むことに繋がり、CKD 患者の就労者数増加や復職率向上に寄与することが期待される。また、CKD 患者の適切な治療により CKD 重症化予防にも貢献し、透析導入減少にも資することが期待される。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし
3. その他：なし

厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）
ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究
令和5年度 分担研究報告書

職場における慢性腎臓病への対応に関するアンケート調査

研究分担者 須賀 万智 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 教授
研究協力者 山内 貴史 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 准教授

研究要旨

【目的】職場におけるCKDへの対応について実態を把握するため、特に1) CKD患者の治療と仕事の両立と2) 健診有所見者の事後措置に注目して、産業医を対象にアンケート調査を実施した。

【方法】アンケート調査は日本医師会認定産業医研修会に参加した医師を対象に計3ヶ所で実施した。産業医活動を行っていない者を除外し、200名の回答を分析した。

【結果】1) CKD患者の治療と仕事の両立について、仕事との両立が困難であると答えた者の割合は、多い順に、血液透析60%、腹膜透析58%、腎移植31%、保存期CKD 30%であり、治療中の従業員がいると答えた者の方がいないと答えた者に比べ低い傾向にあった。2) 健診有所見者の事後措置について、尿蛋白1+のみでは経過観察が最も多く（57%）、これに尿潜血1+が加わるとかかりつけ医を受診が増え、尿蛋白2+になるとかかりつけ医を受診と腎臓専門医を受診が半々になった。

【結論】CKD患者の治療と仕事の両立を進めるには、事例に基づく両立支援の情報提供を行うこと、CKDの早期発見・早期治療を進めるには、産業医への啓発活動を行うことが求められる。

A. 研究目的

慢性腎臓病（CKD）は、進行すると透析や腎移植が必要になる可能性があるほか、心血管疾患のリスク因子となる。働く人の健康に大きな影響を与えうる疾患として、早期に適切な治療に導き、重症化を防ぐことが求められるが、がんやメタボリックシンドローム関連疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常）に比べ、関心が低いように思われる。

そこで、職場におけるCKDへの対応について実態を把握するため、特に1) CKD患者の治療と仕事の両立と2) 健診有所見者の事後措置に注目して、産業医を対象にアンケート調査を実施した。

B. 研究方法

アンケート調査は日本医師会認定産業医研修会に参加した医師を対象に計3ヶ所で実施した。2023年11月12日に仙台で170名（回答88名）、2024年1月21日に大阪で205名（回答89名）、2024年1月28日に東京で120名（回答55名）に調査票を配付し、合わせて232枚を回収した。このうち産業医活動を行っていない者を除外し、200名の回答を分析した。

調査項目は、1) 抗がん剤、インスリン治療、保存期CKD、血液透析、腹膜透析、腎移植について、該当する従業員がいるか、仕事との両立が困難であるか、2) 定期健康診断で一般によく実施される尿検査（随時尿、定性）とeGFRの有所見の組み合わせ6種類について、事後措置で何と指示する

か（経過観察、かかりつけ医を受診、腎臓専門医を受診）を尋ねた。

統計解析はSAS9.4を使用した。割合の比較は χ^2 検定を行い、有意水準は5%とした。（倫理面への配慮）

本研究は東京慈恵会医科大学の倫理委員会の審査承認（35-208(11837)）を受けて行われた。

C. 研究結果

表1に回答者の背景を示した。専門分野はCKDに関連する腎・泌尿器、内分泌代謝・糖尿病、循環器でない者が7割を占め、従業員数は中小企業から大企業まで幅ひろく網羅された。

表2に治療中の従業員の状況を示した。治療中の従業員の有無がわからない者が16%（インスリン治療）～34%（腹膜透析）みられた。仕事との両立が困難であると答えた者の割合は、CKD関連に注目すると、多い順に、血液透析60%、腹膜透析58%、腎移植31%、保存期CKD30%であった。疾患の種類に関わらず、治療中の従業員がいると答えた者の方がいないと答えた者に比べ低い傾向にあった。

表3に健診有所見者の事後措置を示した。全体で見ると、尿蛋白1+のみでは経過観察が最も多く（57%）、これに尿潜血1+が加わるとかかりつけ医を受診が増え、尿蛋白2+になると経過観察がほぼゼロで、かかりつけ医を受診と腎臓専門医を受診が半々になった。一方、eGFR 60ml/分

1.73m²未満のみではかかりつけ医を受診が最も多く(57%)、これに尿蛋白1+が加わると腎臓専門医を受診が増え、eGFR 45ml/分/1.73m²未満になると経過観察がゼロで、腎臓専門医を受診が7割を越えた。専門分野別にみると、腎・泌尿器を専門にする者の方がそうでない者に比べ、腎臓専門医を受診とする割合が高い傾向にあった。

D. 考察

職場におけるCKDへの対応について、特に1) CKD患者の治療と仕事の両立と2) 健診有所見者の事後措置に注目して、アンケート調査を実施した。

CKD患者の治療と仕事の両立は、血液透析、腹膜透析で過半数が困難であると答えており、この割合は抗がん剤と同等であった。ただ、実際に治療中の従業員がいる者でみると、抗がん剤はほぼ変わらないのに、血液透析、腹膜透析は3割まで下がることから、事例を経験すると当初の予想ほど困難でないと感じる者が多いのかもしれない。CKD患者の治療と仕事の両立を進めるために、事例に基づく両立支援の情報提供が有用であると考えられる。

健診有所見者の事後措置は、日本腎臓学会編『エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018』において、尿蛋白1+以上またはeGFR 45ml/分/1.73m²未満があれば腎臓専門医に紹介するよう推奨されているが、尿蛋白1+のみでは過半数が経過観察と答えており、医療機関受診を指示していなかった。産業医の専門分野はさまざま、診療業務から離れている者も多い。CKDに関する知識がアップデートされていない可能性がある。CKDは健康診断をきっかけに発見されるのが一般的であり、CKDの早期発見・早期治療を進めるために、産業医への啓発がカギになると考えられる。

E. 結論

職場におけるCKDへの対応について、産業医を対象にアンケート調査を実施した結果から、CKD患者の治療と仕事の両立を進めるには、事例に基づく両立支援の情報提供を行うこと、CKDの早期発見・早期治療を進めるには、産業医への啓発活動を行うことが求められる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表 1 回答者の背景
専門領域

	N	
腎・泌尿器	15	8%
内分泌代謝・糖尿病	15	8%
循環器	29	15%
その他	141	71%
従業員数		
	N	
49人以下	23	12%
50-299	98	49%
300-599	33	17%
600-999	12	6%
1000人以上	29	15%
無記載	5	3%

表 2 治療中の従業員の状況

		N	両立困難		p
抗がん剤	いる	93	45	48%	0.626
	いない	43	24	56%	
	わからない	34	20%	19	
インスリン治療	いる	124	11	9%	0.001
	いない	27	6	22%	
	わからない	29	16%	10	
保存期CKD	いる	72	15	21%	0.031
	いない	54	23	43%	
	わからない	40	24%	12	
血液透析	いる	44	15	34%	<0.001
	いない	74	54	73%	
	わからない	39	25%	25	
腹膜透析	いる	8	3	38%	0.438
	いない	79	48	61%	
	わからない	44	34%	25	
腎移植	いる	23	2	9%	0.024
	いない	66	26	39%	
	わからない	39	30%	12	

治療中の従業員の有無を回答した者のみ分析した

表 3 健診有所見者の事後措置

	専門領域	経過観察		かかりつけ医		腎臓専門医		p
A) 尿蛋白(定性)1+	全体	105	55%	78	41%	8	4%	0.002
	腎・泌尿器	3	20%	10	67%	2	13%	
	内分泌代謝・糖尿病	3	21%	11	79%	0	0%	
	循環器	15	52%	12	41%	2	7%	
	その他	84	63%	45	34%	4	3%	
B) 尿蛋白(定性)1+、尿潜血(定性)1+	全体	31	16%	112	57%	52	27%	0.032
	腎・泌尿器	1	7%	5	33%	9	60%	
	内分泌代謝・糖尿病	0	0%	9	60%	6	40%	
	循環器	5	17%	17	59%	7	24%	
	その他	25	18%	81	60%	30	22%	
C) 尿蛋白(定性)2+	全体	1	1%	98	50%	97	49%	0.065
	腎・泌尿器	0	0%	2	13%	13	87%	
	内分泌代謝・糖尿病	0	0%	7	47%	8	53%	
	循環器	0	0%	12	41%	17	59%	
	その他	1	1%	77	56%	59	43%	
D) eGFR 60ml/分/1.73m ² 未満	全体	73	38%	110	57%	9	5%	0.089
	腎・泌尿器	2	13%	11	73%	2	13%	
	内分泌代謝・糖尿病	4	27%	11	73%	0	0%	
	循環器	16	55%	12	41%	1	3%	
	その他	51	38%	76	57%	6	5%	
E) eGFR 60ml/分/1.73m ² 未満、尿蛋白(定性)1+	全体	9	5%	113	58%	72	37%	<0.001
	腎・泌尿器	0	0%	1	7%	14	93%	
	内分泌代謝・糖尿病	1	7%	7	47%	7	47%	
	循環器	2	7%	21	72%	6	21%	
	その他	6	4%	84	62%	45	33%	
F) eGFR 45ml/分/1.73m ² 未満	全体	0	0%	46	24%	148	76%	0.323
	腎・泌尿器	0	0%	1	7%	14	93%	
	内分泌代謝・糖尿病	0	0%	5	33%	10	67%	
	循環器	0	0%	6	21%	23	79%	
	その他	0	0%	34	25%	101	75%	

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

厚生労働大臣 殿

機関名 旭川医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 西川 祐司

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業
2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究
3. 研究者名（所属部署・職名） 医学部・准教授
（氏名・フリガナ） 中川 直樹・ナカガワ ナオキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称： <input type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年4月1日

厚生労働大臣 殿

機関名 学校法人川崎学園川崎医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 砂田 芳秀

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 医学部・学長付特任教授

（氏名・フリガナ） 柏原 直樹・カシハラ ナオキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 埼玉医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 竹内 勤

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・教授

(氏名・フリガナ) 岡田 浩一・オカダ ヒロカズ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 杏林大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 渡邊 卓

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部 客員教授

(氏名・フリガナ) 要 伸也 (カナメ シンヤ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	杏林大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東 邦 大 学

所属研究機関長 職 名 学 長

氏 名 高 松 研

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 医学部 ・ 教授

（氏名・フリガナ） 酒井 謙 ・ サカイ ケン

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・ 該当する□にチェックを入れること。
・ 分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

大阪大学医学系研究科では、厚生労働科学研究費補助金に係る承諾書等について以下のとおり取扱っております。

I. 厚生労働科学研究費補助金の研究実施承諾書・倫理審査状況及び利益相反等報告書について

本学では、厚生労働科学研究費補助事業の研究実施の承諾については、従来より研究者が所属する各部局長より行なっております。

これは「大阪大学教授会通則」第4条に基づき、各部局の教授会が各部局の教育・研究に関する重要事項の決定権を有しているため、教授会の責任者である部局長が研究実施に対する承諾権限を有しているとみなしているためです。

そのため、大阪大学医学系研究科に所属している研究者の研究実施の承諾は医学系研究科長より行っております。

同様に、倫理審査状況及び利益相反等報告書についても医学系研究科長名にて発行しております。

II. 厚生労働科学研究費補助金の管理及び経理事務委任に対する承諾書について

本学では、「厚生労働科学研究費補助金における事務委任について」（平成13年7月5日厚科第332号厚生科学課長決定（平成29年3月31日 最新版））に基づき、補助金の管理及び経理事務について、所属機関の長の責のもと、その機関において行うこととしております。

なお当該事務について、「国立大学法人大阪大学における公的研究費の取扱いに関する規程」第6条に基づき、実質的な責任と権限を持つ者として、医学系研究科長への委任及び同研究科長よりの承諾を行っております。

III. 厚生労働科学研究費補助金の受領委任に関して

本学では、「厚生労働科学研究費補助金における事務委任を行った場合の国庫補助金の受領の委任について」（平成13年10月25日厚科第472号厚生科学課長決定（令和3年1月21日 最新版））に基づき、「国立大学法人大阪大学研究費補助金取扱要項」第6条により、補助金の受領について、所属機関の長（学長）への委任及び同長よりの承諾を行っております。

【参考】大阪大学規程集 https://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01_05.html

大阪大学教授会通則

（審議事項等）

第4条 教授会は、総長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり教育研究に関する専門的な観点から意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関すること。
- (2) 学位の授与に関すること。
- (3) 教育課程の編成等に関すること。
- (4) 学生の除籍及び懲戒に関すること。
- (5) 教員の人事に関すること。
- (6) 組織の長の選考及び解任に関すること。
- (7) 称号の付与に関すること。
- (8) 教育研究組織の再編に関すること。
- (9) 共同研究講座等の設置に関すること。
- (10) 諸規程の制定及び改廃に関すること。
- (11) 概算要求に関すること。

2 教授会は、前項に規定するもののほか、総長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「総長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び総長等の求めに応じ、教育研究に関する専門的な観点から意見を述べることができる。

国立大学法人大阪大学における公的研究費の取扱いに関する規程 抜粋

（部局等管理責任者）

第6条 部局等（本部事務機構を含む。以下この条において同じ。）における公的研究費の運営及び管理について実質的な責任と権限を持つ者として部局等管理責任者を置き、当該部局等の長（本部事務機構にあっては、財務を担当する理事）をもって充てる。

国立大学法人大阪大学研究費補助金取扱要項 抜粋

（研究費補助金の経理事務の委任）

第6条 研究代表者等は、研究費補助金の交付内定（継続分を含む。）を受け、研究費を受領する場合は、学長にその受領を委任したものとし、経理に関する事務を所属する部局長に委任したものとみなす。

ただし、受領委任について配分機関から別途定めがある場合は、その定めにより取り扱うものとする。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職 名 大学院医学系研究科長

氏 名 熊ノ郷 淳

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 大学院医学系研究科・教授

（氏名・フリガナ） 猪阪 善隆・イサカ ヨシタカ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東京慈恵会医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 松藤千弥

次の職員の令和 5 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病 (CKD) 対策に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 環境保健医学講座・教授

(氏名・フリガナ) 須賀万智・スカマチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東京慈恵会医科大学 35-208(11837)	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東京慈恵会医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 松藤 千弥

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 腎臓・高血圧内科・講師

（氏名・フリガナ） 福井 亮（フクイ アキラ）

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東京慈恵会医科大学 35-208 (11837)	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年3月27日

厚生労働大臣 殿

機関名 香川大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 上田 夏生

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 医学部循環器・腎臓・脳卒中内科 講師

（氏名・フリガナ） 祖父江 理 ・ソフエ タダシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 聖隷佐倉市民病院

所属研究機関長 職名 病院長

氏名 鈴木 理志

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 看護管理室 総看護部長

（氏名・フリガナ） 内田 明子（ウチダ アキコ）

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 6年 3月 29日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 茨城キリスト教大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 上野 尚美

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病(CKD)対策に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 生活科学部食物健康科学科 教授

(氏名・フリガナ) 石川 祐一 (イシカワ ユウイチ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東海国立大学機構

所属研究機関長 職 名 名古屋大学医学部附属病院長

氏 名 小寺 泰弘

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 名古屋大学医学部附属病院・看護部・看護師

（氏名・フリガナ） 高井 奈美・タカイ ナミ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 藤田医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 湯澤 由紀夫

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 腎疾患政策研究事業

2. 研究課題名 ライフスタイルに着目した慢性腎臓病（CKD）対策に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 医学部・准教授

（氏名・フリガナ） 水野 智博・ミズノ トモヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。